

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 20 日現在

機関番号：32663

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20520039

研究課題名（和文） 六朝道教における死霊観の変遷と葬墓制への影響に関する
比較宗教史的研究研究課題名（英文） Comparative Studies on the Soul Faith and Burial System
in the Six Dynasties China

研究代表者

菊地 章太（KIKUCHI NORITAKA）

東洋大学・ライフデザイン学部・教授

研究者番号：40231279

研究分野：比較宗教史

科研費の分科・細目：哲学・中国哲学

キーワード：道教、死霊観、葬墓制

1. 研究計画の概要

本研究（単独研究）は、六朝時代の道教経典ならびに葬送儀礼文書と出土資料（墓域から出土する文字資料）を文献学的に考察することを通じて、死霊観という今に続く宗教的心性の形成過程を探りつつ、それが葬墓制の変化にどのような影響を与えているのかを比較宗教史的に明らかにしようとするものである。これによって現代社会において墓のありようを考えるための歴史的事例を準備することを目標とする。

2. 研究の進捗状況

現在までに3点の道教経典について敦煌写本の翻刻を行ない、これを道蔵本と対校することによって校訂本文を作成し、さらにこれにもとづいた現代語訳を試みた。敦煌写本の翻刻は、マクロフィルムによる焼付写真をもとに行なった。対象とした経典および写本は以下のとおりである。

『道要靈祀神鬼品経』（[1]パリ国立図書館所蔵敦煌写本ペリオ2432番 [2]ペリオ3297番 [3]同大英図書館所蔵敦煌写本スタイン986番 [4]スタイン1728番 [5]中国国家図書館所蔵敦煌遺

書BD14841L番）

『洞淵神呪経誓魔品』（[1]ペリオ2576番 [2]ペリオ3233番 [3]スタイン3786番 [4]サンクト・ペテルブルグ東方学研究所所蔵敦煌写本D×10306番）

『洞淵神呪経逐鬼品』（[1]ペリオ2473番 [2]ペリオ2749番 [3]ペリオ2793番 [4]ペリオ3309番 [5]スタイン3705番）

以上の作業を踏まえ、言語および思想の各レベルにおいて異同を検討し、六朝道教における死霊観の変遷をたどるための文献的基礎の構築を行なった。これと平行して、道蔵所載の葬送儀礼文書（『赤松子章曆』『太上宣慈助化章』）および墓域から出土した文字資料（『中国道教考古』所載）の解読を試みた。これは、六朝道教の死霊観が同時代の葬墓制の変化に具体的にどのような影響を与えているかを明らかにするうえで、文献的な手がかりを得るための基礎作業である。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

六朝道教における死霊観の変遷をたどる

ための文献的基礎の構築に関しては、上述のとおりである。作業に必要な文献資料が取得研究費によってほぼ購入できたため、研究を順調に推進し得たのが主たる理由である。

4. 今後の研究の推進方策

研究の最終年度である今年度は、六朝時代の死霊観の変遷をたどることを目的に現在までに構築し得た文献的基礎をもとに、それが現在に続く葬墓制の変化にどのような影響を与えているのかを比較宗教的に明らかにすることを試みたい。これによって現代社会において墓のありようを考えるための歴史的事例を準備したいと考えている。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計2件)

1. 菊地章太(単著)「洞淵神呪経写本校異(二)」『東洋学研究』48号(東洋大学東洋学研究所) 2011年、368～388ページ 査読なし
2. 菊地章太(単著)「洞淵神呪経写本校異(一)」『東洋学研究』47号(東洋大学東洋学研究所) 2010年、43～66ページ 査読なし

[図書](計2件)

1. 菊地章太(単著)『神呪経研究 六朝道教における救済思想の形成』研文出版、2009年、総446ページ
2. 菊地章太(単著)『儒教・仏教・道教 東アジアの思想空間』講談社、2008年、総206ページ